

2024 年度 展示発表分科会

担当教員：宇田先生、大絵先生、滝口先生、宮田先生、甕先生

展示分科会では、下記に従い「作品」と「展示発表」形式によって提出及び発表する者に限り、「卒業論文および制作Ⅰ・Ⅱ」の単位認定を行うものとする。

1. 提出日程と方法

- ① 「エントリーシート」提出期限：2024年5月17日（金）17時、提出場所：3号棟教学事務室。
- ② 「事前審査」2024年7月26日（金）3～5限（教室未定）、報告プレゼンテーションおよび審議会（全員参加）。
- ③ 「作品」および「レポート」提出期間：2025年1月15日（水）、16日（木）、提出場所・方法：各指導教員に従う。
- ④ 「卒業制作展」準備：2025年1月16日（木）10:00-18:00（予定）、展示期間：17日～24日（金）10:00-18:00[片付けは最終日の16時以降]（予定）、展示場所：紀尾井町キャンパス3号棟5階。

*上記①、②、③、④の詳細については、事前に指導教員に確認すること。

2. 「作品」について

- ① 作品形式は、展示できる形式であれば、絵画、イラストレーション、彫刻、ファッション、模型、冊子、音楽、ビデオアート、インタラクティブアート、ゲーム、インスタレーション、研究成果のパネル展示など、いずれの媒体でも構わない（ただし、エントリーシートの提出段階で指導教員から承認を得たものに限る）。
- ② 作品は、オリジナリティのあるものとする（単に資料を集めたものは不可とし、「著作物」として認められるものとする）。
- ③ 作品は、個人・グループ制作のいずれも可とする（エントリーシート提出段階で指導教員から承認を得たものに限る）。
- ④ 展示会場に収まらない巨大作品や学外イベントなどに出演する作品は、作品内容を映像などにまとめ、展示会場において発表する。

3. 「レポート」について

- ① レポートの分量は、A4サイズ5ページ以上とする。
- ② レポートは、共同で作品を制作する場合であっても一人一点必要であり、自身の担当箇所などについて記述するものとする。展示会場での発表が不可能なものについては、概要などを工夫して展示会場で発表することで、代替できるものとする。
- ③ 書式などは、下記の通り設定する

【日本語横書】[全般] A4版、40字×36行（MS Wordのデフォルトの設定）

【表紙】

【投稿区分】1行目に左寄せで、投稿区分とゼミ指導教官（展示発表分科会 担当指導教員〇〇先生）と書く（MS明朝11pt）。

【卒業制作】5行目に「2024年度 卒業制作」と書く（MS明朝20pt、センタリング）。

【題名】10行目に作品題名を書く（MS明朝22pt、センタリング副題があれば、次の行に書く（MS明朝18pt、センタリング））。

【所属】25行目に「城西国際大学メディア学部メディア情報学科映像芸術コース」と書く（MS明朝12pt、センタリング）。

【学籍番号・氏名】26行目に書く（MS明朝12pt、センタリング）。

【内容】

【概要】1行目に「【概要】」と記して400～600字程度の概要を記載する（MS明朝11pt）。

【解説】1行目に「【解説】」と記して、作品の企画立案および制作過程などの説明を記載する（MS明朝11pt）。

- ・必要に応じて目次や参考資料を記載する。
- ・適宜、図表（写真含む）は、文章中に挿入、もしくは別添として良い。
- ・全てにおいて、アルファベットとアラビア数字のフォントは Century を使用すること。

4. 「卒業制作展」について

- ① 準備と片付けは、担当教員の指示により、作品を提出した学生全員で実施するものとする。
- ② 展示期間中は、参加学生でシフトを組み（1日二交代制）、受付や来客対応などを担当するものとする。

5. 成績評価について

- ① 作品およびレポートは、指導教員と話し合いながら決定し、約10ヶ月をかけて制作する。
- ② 成績評価は、卒業制作展の展示作品を担当教員が審査する複数評価法を用いて与えるものとする。
- ③ 担当教員により、卒業制作展の展示作品から「優秀作品」および「最優秀作品」を選定する。